

当社木村シニアリサーチアドバイザーが青山学院大学において特別講義を行いました

2024年7月8日、青山学院大学地球社会共生学部（文系）熊谷教授の「国際関係論」のクラスにおいて2年生、3年生および4年生の計22名を対象とした特別講義（出張授業）を行う機会を頂きました。当時は猛暑の中、相模原キャンパスに於いて「脱炭素社会に向けたエネルギーの現状」と題して、国内外のエネルギー情勢を中心に90分（QA含む）の講義を行いました。

講義では、ロシアのウクライナ侵攻により激変したエネルギー安全保障の現状、2050年のカーボンネットゼロに向けた日本の取組や（株）INPEXの取り組みなどの話をさせて頂きました。さらには気候変動問題の解決の糸口となる脱炭素実現に向けた国内外の動向、脱炭素社会への転換期に必要となる化石燃料について石油・天然ガスの探鉱から生産・開発までのプロセスを分かり易く解説しました。学生たちは熱心に聞いて下さり、好評のうちに終了することができました。

講義の後は、学生たちと意見交換の時間を取りることができて、大変充実した時間を共有できたと思います。こうした取組によって、エネルギー安全保障や気候変動問題への理解を深め、学生達に考えてもらうきっかけを作れたのではないかとの手ごたえを感じています。



受講した学生からの質問をいくつか紹介します。

- カーボンクレジットは本当の意味での脱炭素にならないのではないか
- 脱炭素化を目指す途上国に対する支援は、資金ではなく、LNGなどを日本から支援できないのだろうか

熊谷教授からのコメント：

エネルギー問題は、環境問題、資源問題、経済開発問題、昨今注目が高まる地政学的問題として、多角的な関心を学生が寄せております。すべての観点から詳細な解説をしていただき、学生たちもいつものクラスより集中力を増して拝聴しておりました。また、学生たちは、環境問題は自分たちの将来にかかる問題、エネルギー供給の問題は日本の競争力の問題として、かなり自分自身の問題という意識で授業後にコメントを書いておりました。また天然ガスの採掘計画とその実施、運輸、消費地への供給に至る過程を、オーストラリアから日本への輸出の具体例をもってお話しいただき、普段当たり前に使用している電気をはじめとしたエネルギー源について、学生たちが、包括的な理解を高めることができました。

大変ありがとうございました。

（株）NPEXソリューションズでは、中学・高校・高専・大学との関係を維持し深めることで、次世代教育・育成の活動に貢献することを目的とし、出張授業を積極的に展開して参ります。

以上